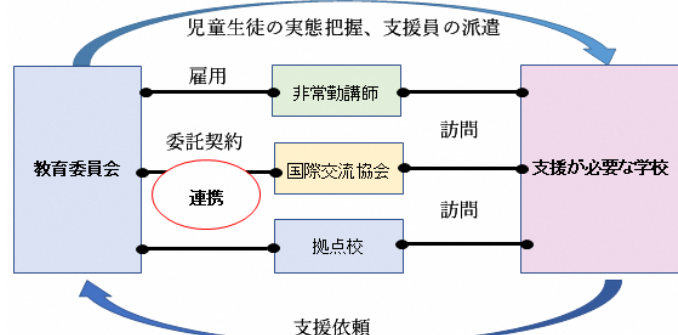


令和6年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (Ⅰ 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【鹿沼市】

令和6年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)



派遣委託先

- ・国際交流協会に支援員の委託及び担当教職員、支援員への研修の実施
- ・対応言語は日本語、英語 等
- ・教員免許状は所持なし

協議会

- ・構成員
 - 鹿沼市教育委員会事務局学校教育課 指導主事 (1名)
 - 帰国・外国人児童生徒の在籍する学校の管理職及び教職員 (13校: 320名)
 - 鹿沼市国際交流協会の局長及び職員 (4名)

2. 具体の取組内容

(1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営

- ・地域における帰国・外国人児童生徒等の現状と課題の整理並びに支援体制について協議
- ・各校の指導の現状と課題の共有
- ・支援体制や研修会についての協議
- ・今年度の課題と成果の整理、来年度に向けての協議

(2) 学校における指導体制の構築

- ・日本語指導担当教師、日本語教師(市非常勤講師)、国際交流協会からの日本語支援員による巡回指導の実施

(3) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施

- ・「特別の教育課程」の編成と実施についての共通理解
- ・個別の指導計画に基づいた指導実践の共有、見直し
- ・達成目標の評価

(4) 成果の普及

- ・教育委員会のホームページに実践の概要と成果を公開

(7) ICTを活用した教育・支援

- ・teamsを利用した指導者間の指導内容共有
- ・多言語連絡ツールを導入し、保護者等への連絡体制を整備

(10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

- ・通年の支援ができるよう、日本語教師(市非常勤講師)1名、国際交流協会への委託による日本語指導員(必要であれば母語支援員)15名の派遣

3. 成果と課題

(1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営

- 教育委員会、国際交流協会、学校が連携・協力した支援体制が構築できた。
- 各校の実践や情報を共有することで、市全体の指導・支援の質の向上につながった。
- 次年度の就学状況の情報交換ができ、次年度の支援体制見直しを図ることができた。
- 指導法について、さらに充実した協議や情報共有が行えるように研修等の機会を増やす必要がある。

(2) 学校における指導体制の構築

- 散在地域において、「拠点校」や「日本語支援員」等を中心とした広域の指導・支援体制が構築されてきた。
- 少数在籍学校においても指導体制を整備し、日本語指導が必要な児童生徒等が巡回による指導を受けることができた。
- 帰国・外国人児童生徒が増加し、日本語指導が必要な児童生徒が増えていくことが予想される。支援員の増員が必要。

(3) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施

- 個別の指導計画の作成により、身に付けさせるべき力が共有され、指導者間で共通理解が図られた上で指導にあたることができた。
- 定期的に指導の内容と児童生徒の実態を確認、見直しをし、より適切な指導につなげる必要がある。

(4) 成果の普及

- ホームページで公表することにより、地域のみでなく全国に成果を発信できる。
- より効果的な普及方法について検討する必要がある。

(7) ICTを活用した教育・支援

- 一人の児童に多くの指導者が関わる場合でも、指導者間で情報共有しながら指導にあたれた。
- 伝えたい内容を保護者の母語で連絡することができた。
- 保護者の母語で連絡をすることはできたが、学校からの連絡に対する保護者の意識に課題があり、連絡が伝わっていなかったり、伝わっていても未対応だったりすることが多い。

(10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

- 在籍、転入等流動的に日本語指導が必要になる児童生徒に対して、児童生徒の実態に応じ柔軟に対応でき、児童生徒の困り感、学校教職員の負担感を軽減することができた。
- 児童生徒の母語が多様化しており、対応できていない言語の協力者を確保することが難しい。

	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	特別支援 学校
本事業で対応した幼児・児童 生徒数	人 (園)	33 人 (10校)	9 人 (3校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
うち、特別の教育課程で指導 を受けた児童生徒数		14 人 (3校)	6 人 (2校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)

4. その他(今後の取組予定等)

- ・ 今後も鹿沼市国際交流協会と連携を図り、市内の公立学校における研修会等をさらに充実させたい。